

公益社団法人高島市シルバー人材センター

令和2年度事業報告

事業の概要

令和2年度高島市シルバー人材センターの事業は、下記のとおりです。

	令和2年度	平成31年度	備 考
会 員 数	506 人	538 人	前年比 94.1%
就業実人員	441 人	451 人	派遣含む前年比 97.8%
就業延人員	24,594 人	26,299 人	前年比 93.5%
就 業 率	87.2%	83.8%	前年比 104.1%
受託件数	2,987 件	3,239 件	前年比 92.2%
受託契約金額	104,823,393 円	114,316,285 円	前年比 91.7%
労働者派遣額	38,279,152 円	48,572,884 円	前年比 78.8%
合 計	143,102,545 円	162,889,169 円	前年比 87.9%

令和2年度は、期初より新型コロナウイルスの蔓延が予想以上に拡散し、厳しい状況となりました。

会員の減少、就業実人員の減少は歯止めがかからず、受託事業、労働者派遣事業ともに前年を下回り、当センターの存亡に係る状況となっています。

受託事業は一般企業が前年比 82.9%、労働者派遣事業が前年比 78.8%と業績を悪くする要因となりました。厳しい状況の中、受託事業で実施している「ふるさと納税」の返礼品としての草刈、剪定等の依頼が順調に入り、受託事業の新たな取り組みとして明るい兆しがみえてきました。

会員数は新規入会者 38 名、退会者 70 名と前年より 32 名も減少しました。加齢に伴う体調不良が主な原因で、体調回復を目指す間、退会抑止策として「プラチナ会員制度」で確保に努めています。全国的に 100 万人の会員を獲得する取り組みが実施されており、また、連合会挙げて会員増強を目指している中、減少を招いたことに対し、猛省し会員獲得のための方策を見直してまいります。

新型コロナウイルスの蔓延による影響は、予想以上のものとなり、業績の低迷にはっきりと現われました。業績の低迷、会員数の減少はセンターの存続にかかわる重大な事象であり、厳しい環境下ではありますが、センターの基本業務である会員の拡大、就業機会の確保等時代に即した取り組みを実施する考えです。

事業の詳細

1、 就業機会の確保および提供

- ・高島市の委託事業である「ごみ減量作戦」は委託事業として受託3年目となり、

高島市内の「区・自治会」に対する環境学習および街頭啓発に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響は環境学習に現れ、8回の活動に終わりました。出役会員数述べ30人、73,700円の実績と低調でした。

- ・高島市より委託を受けている、今津・新旭・安曇川・高島の市営駐車場の管理業務は6年目に入り、利用者も慣れ、安定的な作業として会員の就業状況も良くなりましたが、コロナの影響で駐車場の利用が大幅に減少しました。
- ・高島市の「総合事業」である家事援助サービスは、利用者も増加し、就業述べ人員534名 実績734,800円と徐々に向上してきました。
- ・派遣事業は新型コロナウイルスの影響で一般企業の生産縮小、福祉・医療機関のデイサービスの利用者制限等により、厳しい状況が続いています。流通業界等新規開拓による、会員就業機会の確保に継続して取り組んでいます。また、福祉関連の運転業務は会員の高齢化と、運転希望者が少なく就業人員の確保に苦慮している現状です。
- ・高島市教育委員会文化財課の発掘現場は、試掘のような小規模の現場であり、出役会員数、取扱い実績とも増加したが本年は、出役延べ人数70人、実績480,475円と前年比159.7%になりました。
- ・新規に企業関係の取り組みはあったが、派遣事業全体の実績を押し上げることはできませんでした。

2、安全・適正就業対策推進事業

「安全は一声かけるゆとりから」を合言葉に取り組んでいます。

◆6月5日令和2年度安全・適正就業推進委員会開催。

令和2年度安全・適正就業推進計画について

令和2年度安全大会の開催について

令和2年度安全パトロール実施について

◆7月15日安全大会を開催。

安全運転講習会「ドライブレコーダー事例からみた安全運転術」

講師：一般社団法人日本自動車連盟（JAF） 生田 真 氏

健康教室「自ら心がける健康管理」

講師：高島健康福祉部 健康推進課 森 保健師

◆11月27日高島警察高年齢者交通安全研修会（安曇川公民館）

県警本部より体験型車両による診断テスト

◆令和3年1月15日令和2年度安全就業指導員会議（動画会議）

◆令和3年1月18日令和2年度安全適正就業推進委員会（オンライン会議）

◆令和3年2月26日令和2年度滋賀県シルバー人材センター連合会

安全適正就業推進会議（オンライン会議）

◆令和3年3月26日令和2年度高島市安全適正就業推進研修会の開催

「令和2年度での損害事故の検証」

3、独自事業の推進

独自事業は会員の自主性と能力を発揮し就業機会を確保することが目的で、今年度は3事業と会員拡大を目指して、新たにハローワークにて月1回入会説明要員を配置し、会員拡大に努めました。

成果として2事業が前年を上回り、1事業は前年割れとなりました。

子育て支援サービスは、本年は高島市の子どもフェスティバル協賛事業と連合会の子育て支援フェスティバルは新型コロナウイルスの蔓延により、中止となりました。

イ、刃物研ぎ事業

就業延人員 50名 実績260,705円 前年比109.8%

ロ、特産品販売事業（道の駅）

就業延人員 289名 実績558,141円 前年比112.4%

ハ、剪定枝葉チップ堆肥化事業

就業延人員 162名（チップ化+堆肥化）

実績556,069円 前年比81.9%

ニ、ハローワーク入会説明会説明員

就業延人員 3名 実績 5,400円 令和2年度より取組

4、普及啓発活動

当センターの存在意義を高めるためには、積極的な活動、PRが必要であり市民の理解を得るため、下記の普及啓発活動を行いました。

- 当センターの活動内容を周知するため「シルバー高島」を年間3回発行し市民向け、会員を通じPRに努めました。
- 会員募集のため、新聞折込によるチラシ配布。16,700枚を2回実施。
ハローワークにて「仕事説明会」と称して実施。来場者22名入会5名
- 10月の第3水曜日は「シルバー環境美化の日」と定められていますが、本年は（令和2年10月14日）に県下一斉に清掃活動実施。当センターは6地区においてボランティア活動を実施。別紙事業実施状況のとおり168人の会員が参加しました。
- 技能講習会実施の為、高島市の「広報たかしま」に掲載をお願いし、技能講習会を次の通り実施しました。

実施月	講習内容	参加人員	会員	一般	講習後入会
11月	剪定講習会(マキノ)	13人	11人	2人	0人
11月	松の剪定講習(新旭)	10	7	3	0
11月	松の剪定講習(高島)	14	12	2	0
	合計	37人	30	7	0人

「広報たかしま」による入会促進の広報を実施しています。
今回は、参加者の希望が少なく、コロナの影響もあり剪定だけに絞りました。
市民の参加もありましたが、入会者はありませんでした。

5、福祉・家事援助サービス事業

介護保険法の改正に伴う「総合事業」の取り組みとして、5年目を迎え高島市訪問型サービスBの実績が利用者16件、就業会員11名、実績金額580,800円を計上することができました。現状新規の利用者が徐々に増加しており、今後さらなる取組のため、会員の増強が急務と思われます。派遣事業で実施している、社会福祉協議会及び市内福祉団体の福祉施設利用者の送迎も、既存会員が加齢に伴い交代等希望が多く運転希望者の入会が少ないため、確保に苦慮いたしました。

社会福祉協議会および個人から入院患者の洗濯業務の依頼も増加し、今後の福祉サービスの大切な位置づけとなり、女性会員の就業拡大につながる事業と考えます。女性会員拡大に苦慮している中、魅力ある情報発信ができなかったことが、会員獲得に至らなかったと考えます。

6、職業紹介事業

本年は、職業紹介事業の問い合わせは一件もありませんでした。

7、労働者派遣事業の推進

国の「高齢者・現役世代雇用サポート事業」は、労働者派遣により労働力不足の分野に注力することを目的とした事業で、流通業界、一般企業、福祉等各事業所で求められる職種に対し積極的就業機会の確保に努めました。

派遣先においても、新型コロナウイルスの収束が見えない中、事業の正常化、新しい取り組みにも苦慮されている様子である。本年度業績が低迷したこともあり、将来を見据えた具体的な提案が出来ていなかったことを反省し、今後の活動に生かします。

8、公共団体等への事業参加

① 高島市「セーフティーたかしま」交通安全推進協議会事業

年に2回 春・秋の交通安全週間に合わせ安全出発式、幹事として会議出席、街頭啓発に参加する等高齢者の団体として期待を寄せられています。

今年度は、新型コロナウイルスの蔓延により、すべての行事が中止となり活動の機会はありませんでした。

② 高島市災害ボランティア活動連絡協議会事業

年間9回の防災・減災についての会議へ参加

本年度は、区・自治会への防災出前講座2回参加。

常に当センターの活動をPRすることを意識し参加した。